

## 北河内の公園めぐり

### ① 深北緑地・弁天堂公園

#### 非常時は遊水地に なる深北緑地

JR学研都市線「四条畷」駅から歩いて12分、寝屋川市の南端から大東市の北端に位置する広大な緑地公園が深北緑地だ。

中へ入ってみると、一般的な公園とは一風変わった構造になっている。西洋風の城郭を模した「とりで広場」、恐竜のオブジェが子どもたちに人気の「恐竜広場」のほかテニスコート、球技場、芝生広場など、どこの公園でも見かけるような施設や遊具はあるのだが、周囲が堤防で囲まれていることに気づくはず。広いことは広いけれど、スパッと開けた光景ではないのだ。

その理由は、この深北緑地は大雨の際に河川からの洪水を防ぐために、一時的に水を貯めておける遊水地としての機能も備えているからだ。

周囲を囲む「周囲堤」によって、緑地全体が巨大な水瓶となる。さらに内部を「仕切堤」によってA・B・Cの3ゾーンに分けて、洪水の際はAゾーンから順に水が流れ込む設計になっている。緑地の西側に沿って寝屋川が流れており、大雨が降るとしばしば増水して水があふれる。大阪府が平成15年に発行した「寝屋川治水緑地」には、平成元年、7年、11年に実際に



深北緑地の仕切堤から右手にAゾーンを見下ろす

#### 弁天堂がある 弁天池公園

深北緑地から歩いて10分、門真市の東部に位置する中規模の公園。池があり、公園の東側には南北に長い堀もあって、水が豊かな公園という印象だ。

芝生広場や自由広場は老若男女問わず、自由に遊べる広場になっている。丘に登れば公園全体が見渡せ、天気が良いれば生駒山まで眺望が楽しめる。また森林浴の森では、人の手で管理された空間にしながら、季節ごとの木々や鳥、虫の声など、自然の中に身をおいでしているような感覚を味わえる。

園内の中央部にある弁

天池には、嚴島の弁財天を祀る弁天堂があって、次のようないい伝えがあるという。

『昔、長らく雨が降らなかつたため、村人たちが弁天池に足踏み式の水車を設置して、水を汲み上げた。やがて池の水が減って、村人のひとり「魚を獲ろう」といいたした。しかし村の長老は「池には主が住んでいる」と魚獲りをやめるようにいった。しかし村人は、長老のいうことを聞かず、魚を獲ろうとした。すると、若者が立て続けにケガをした。その夜、1人の若者の夢に弁財天の使いが現れて「弁天池を汚してはならない」と忠告を与えた。それ以来、村では魚獲りをやめ、水が必要ときは弁財天をお参りしてから水を汲み上げるようにしたところ、池の底から水が湧いて、干上がるこがなくなつた』。

池の周囲は柵があるけれど、弁天堂の周囲には植え込みしかない。大人が池に転落する心配はないが、ところどころに小さな子供がすり抜けられそうなすき間があるから、子供連れで行くときは注意が必要だ。



弁天池公園の弁天堂